

常任委員会の審査概要（委員長報告の抜粋）

総務委員会

本委員会が付託を受けた6議案中、議案第192号、第193号は賛成多数で、残る4議案は全会一致で原案の通り可決すべきものと決定しました。

議案の審査では、指定管理者制度の趣旨に沿った見直しと審査の透明性、特別職・一般職職員の給与待遇改定の考え方、議員の給与待遇改定の必要性、指定管理者制度の基本的な考え方とより効果を得るための工夫、指定管理者制度にそぐわない事業の整理について、また、議案以外の委員会所管事務に関するものとして、原発事故が発生した場合の住民避難協定の内容と避難計画の策定、激甚災害復旧事業の財源と国の財政措置を確実にするための要望活動、公の施設の運営の民間委託、中心市街地の人口減少と打開策、地方消費税交付金の増額と福祉サービスの向上、場外舟券売場に関する調査内容、地元町内会の同意に対する市の認識、密集市街地への消火栓の設置について質疑、意見、要望があり、理事者よりそれぞれ答弁がありました。

民生委員会

本委員会が付託を受けた11議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

審査では、保育施設A I入所選考システム導入で、判定は約30秒で完了、入所調整に時間をかけられ待機児童解消につながる。放課後児童クラブ民営化は、事業者のモデル事業の検証、財政状況、受託能力等を勘案して検討していく。民間委託後児童クラブで子どもの素行が悪くなった場合、運営事業者に状況確認、改善指導を行う。国の支援員配置基準撤廃後においても、緊急時には1人の支援員が見守り、もう1人が関係者へ連絡調整するという現在の態勢は変わらない。国保繰越金2億円で、福山市のように子どもにかかる保険料を減免実施することについて、県単位化で、新たな本市独自の減免は難しい等答弁がありました。

その他、医師確保など市民病院の経営改善策、食品ロス削減の取組み、フードバンク事業、子ども食堂、民生・児童委員の改選と欠員、障がい者通所にかかる交通費助成の改善、ひきこもり対策などについて質疑、意見、要望があり、理事者よりそれぞれ答弁がありました。

文教委員会

本委員会が付託を受けた4議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議案の審査では、小・中学校空調設備整備委託料の補正に関わる質疑に対し、理事者より、国の臨時特別交付金等を見込んだことにより基金や市債を減額調整した。用途は2019年8月末だが、1日も早い事業完了を目指したい。現在元請け業者において請負額ベースで5割以上を市内業者に発注できるよう取り組んでいる、と答弁がありました。

議案以外では、高須小学校舎増築でグラウンドが狭くなることへの対応、特別教室等が不足している学校への配慮、校舎増築の優先順位の見直し、教育委員会のデータ収集と分析能力、国が示した今後の教育方針とコンピテンシー・ベースの教育、スクールバスの利便性、教員不足と待遇改善、学校選択制度の平成31年度募集要項の記載、土砂災害特別警戒区域内の小中学校に児童募集をすることへの危機管理、因島南中学校での親子方式による給食の可能性について質疑、意見、要望があり、理事者よりそれぞれ答弁がありました。

産業建設委員会

本委員会が付託を受けた23議案につきましては、審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議案の審査では、高西東新涯ポンプ場に設置されるポンプの概要と契約変更の経緯と揚程、千光寺山索道事業施設の指定管理者の指定、ユニバーサルデザインの取組み、外国人観光客のための利用料金の割引制度やクレジット決済の導入、夜間景観観覧のための運行時間の延長、被災農業者向け経営体育成支援事業の内容、融資制度の手続き、堤線道路改良事業が繰越明許となった要因、瀬戸田サンセットビーチの指定管理者の指定と指定管理料について、議案以外の委員会所管事務に関するものとして、国道486号と市道貝ヶ原線の接続工事の進捗状況、災害による農地面積の減少、農地の太陽光発電設置の影響、有害鳥獣の捕獲数と対応予算、有害鳥獣の対策実験、セイバー日本の概要、千光寺公園頂上整備事業の経過、下水道整備計画区域内の合併浄化槽設置補助金について質疑、意見、要望があり、理事者よりそれぞれ答弁がありました。